

令和6年10月18日

近畿初!羽曳野市がデジタル住民票 NFT を販売開始!

10月18日(金)より、「市内焼肉店等で無料サービスや割引を受けられる」「羽曳野市に在住していなくても、羽曳野市政へ参画できる」「オンラインコミュニティで羽曳野市長と対談できる」等の特典がついたデジタル住民票NFTをHEXA(ヘキサ)で先着販売開始

10月18日(金)午前9時よりNFTマーケットプレイスHEXA(ヘキサ)で先着販売開始します。 デジタル住民票NFTの所有者は、羽曳野市のデジタル住民として羽曳野市に関わることができるほか、市内の提携店で特典が受けられるなど、様々なメリットがあります。

販売期間	令和 6 年 10 月 18 日(金) 9 時 00 分 ~ 令和 6 年 10 月 31 日(木) 23 時 59 分
	デジタル住民票NFTのデザインには「とりあえずカルビちゃん」のキャラクターを大 抜擢。羽曳野市限定キャラクターの「あぶらかすちゃん」も初登場します。 (※詳細は別添にて)
	【NFT販売概要】
	販売価格 1,000円/個 ※1人で複数個のご購入も可能です
	決済通貨・方法 日本円・クレジットカード
	販売方式 期間限定先着販売
	販売場所 NFTマーケットプレイス「HEXA(ヘキサ)」
概要	申込ページ https://nft.hexanft.com/nftmaticmulti/114
	【販売スケジュール】
	令和6年10月18日(金) 購入申込み開始(9時00分から)
	令和6年10月31日(木) 購入申込み終了(23時59分まで)
	令和6年11月1日(金) 二次取引開始
	【所有者のメリット(複数所持者でも受けられる特典はNFT1個分です)】
	1. 羽曳野市内の店舗での無料特典や割引
	2. オンラインコミュニティへの参加(市長との対談企画もあり)
	3. デジタル住民になれる(羽曳野市政に参画可能)
問合せ	羽曳野市都市魅力部魅力づくり推進課
	電話番号 072-958-1111 (内線 2732)

NFT とは

NFT は Non-Fungible Token (非代替性トークン) の略称で、データの偽造や改ざんが不可能なブロックチェーン技術 (分散型台帳技術) を用いたデジタル上資産の証明書のようなものです。

デジタル住民票 NFT について

デジタル住民票 NFT とは、デジタル上で発行された住民票を購入した人が、該当自治体に住んでいなくてもその自治体のデジタル住民になれる仕組みです。(法律上の住民になれるわけではありません。)

関係人口の拡大や、地域経済の発展への寄与、地域の魅力発信などを目的に発行され、日本の首相が掲げる地方を守る「地方創生 2.0」における「ブロックチェーン技術、NFT を活用し、食や観光体験等地域の持つ多様なアナログの価値を世界価格に引き直し最大化する」という政策方針に基づいた NFT 施策です。

羽曳野市デジタル住民票 NFT には「羽曳野市内の店舗で無料サービスや割引を受けられる」「羽曳野市在住でなくとも羽曳野市政に参画できる」「オンラインコミュニティ上で羽曳野市長と対談できる」等、様々な特典が付与されており、1 個 1,000 円、期間限定での先着順販売となります。

羽曳野市在住の方も購入可能で、複数個の購入も可能ですが、複数所持者も受けられる特典については NFT 1 個分となります。

羽曳野市デジタル住民票 NFT 所有者のメリット

- 1. 羽曳野市内の店舗での無料サービスや割引(下記以外の店舗も随時追加予定) 【焼肉店】
 - ●焼肉甲子園(大阪府羽曳野市西浦 1242-1) 一品無料サービス(対象商品調整中)
 - ●焼肉一心(大阪府羽曳野市南恵我之荘 4-5-18) NFT を提示したグループを対象に、お肉 1 枚/人 プレゼント
 - ●牛王羽曳野本店(大阪府羽曳野市野々上 4-1-9) NFT を提示したグループを対象に、油かすスープ 1 杯/人プレゼント



※写真はイメージです

【市内体験施設】

●河内こんだハニワの里大蔵屋

(大阪府羽曳野市誉田 3-22-21)

NFT を提示し、埴輪づくり体験をされたお客様対象で、大蔵屋オリジナルマグカップをひとつプレゼント!



※特典についてはさらなるアップデートや追加を予定しております。最新情報は羽曳野市により デジタル住民用のコミュニティサイトで告知いたします。

2. オンラインコミュニティ

羽曳野市のオンラインコミュニティに参加し、羽曳野市やデジタル住民とのつながりを深めることができます。オンラインコミュニティでは、地域の最新情報やイベント、特典情報などを盛り込んだニュースレターの配信などが予定されています。また、羽曳野市の課題に対してコメントや投票を通じて、地域復興プロジェクトへ参加することもできます。また、オンラインコミュニティ上で羽曳野市長と対談できる企画等も実施予定。

3. デジタル住民になれる(NFT で証明)

デジタル住民であることが NFT によって証明され、大阪府羽曳野市のデジタル住民であると SNS などで公言することができます。

限定デザイン「カルビちゃんプロジェクト」

羽曳野市デジタル住民票 NFT の券面は、「とりあえずカルビちゃん」のキャラクターを用いて、限定デザインでの販売となります。

「とりあえずカルビちゃん」とは、羽曳野市と連携協定を結んでいる株式会社 WPS が展開する 食の IP 開発プロジェクトで、お肉の部位や銘柄、その料理をそれぞれキャラクター化し、お肉の 知識やその背景にある様々な魅力を掘り起こし、発信することで、関連する業界(生産者・飲食店・ 観光など)全てを盛り上げることを目的とするものです。



羽曳野市で、なぜ?肉なのか

羽曳野市は古くから食肉加工業が盛んです。その歴史は 140 年前まで遡り、現在は関西でも指折りの「肉の聖地」として知る人ぞ知る街です。特に、焼肉店は市内に多くあり、質の高い和牛を提供する店が多いことで知られています。羽曳野市は「焼き肉の街」としても親しまれ、新鮮で美味しいお肉を求めてグルメな人々が集まるスポットとして近年注目を集めています。

「はびきの肉まつり feat 日本の食まつり」で特設ブースを設置

令和6年10月19日(土)、20日(日)10時00分~16時00分の2日間にわたって実施される「はびきの肉まつりfeat日本の食まつり」は、羽曳野市内の食肉卸事業者から仕入れた新鮮な食肉をベースにした様々な料理と、それに合わせたワインや梅酒、ビールなどが楽しめるイベントです。

当該イベントにおいて、羽曳野市は本デジタル住民票 NFTをPRするためにブースが設けられる予定です。

また、当該イベント内で 20 日に開催される催し「あぶらかすコンテスト」の特別審査員として、「とりあえずカルビちゃん」より、てっちゃんの CV を務める「吉良さゆり」さんが来場予定!市ブースや会場内で出会えるチャンスがあるかも!?







「とりあえずカルビちゃん」 キャラクターの"てっちゃん"(左)と CV の吉良さゆりさん(右)